

収蔵企画展

とらぶっ らんど

2020年7月18日(土)⇒9月27日(日)

2020年
前期 7月18日(土)⇒8月16日(日)

2020年
後期 8月20日(木)⇒9月27日(日)

- 開館時間／午前9時30分～午後5時
- 休館日／毎週月曜日(8月10日、9月21日は開館)、祝日の翌日(8月11日、9月23日)
展示替え期間：8月17日(月)～8月19日(水)※作品を大幅に展示替えします
- 観覧料／一般520円(470円) ()内は20名以上の団体
大学生以下・障害者手帳等をお持ちの方は観覧無料
(学生証・障害者手帳をご提示ください)
- アクセス／北関東自動車道佐野田沼ICから15分(国道293号線)
東佐野線 葛生駅徒歩8分



③



②



④



⑤



①

佐野市立吉澤記念美術館

YOSHIZAWA MEMORIAL MUSEUM OF ART, SANO

〒327-0501 栃木県佐野市葛生東1-14-30

TEL: 0283-86-2008 FAX: 0283-84-3655 <http://www.city.sano.lg.jp/museum/>

①高間惣七《紅冠鳥(幸)》(部分) ②橋本雅邦《竹林栗鼠》(部分)[前期] ③板谷波山《彩磁吳州絵香炉》
④平福百穂《十二支(戌)》(部分)[後期] ⑤塚原哲夫《新雪》(部分) すべて当館蔵

どろぶつランド

収蔵企画展

前期 2020年 7月18日(土)⇒8月16日(日)
後期 2020年 8月20日(木)⇒9月27日(日)

前期と後期で
会える動物が
変わるよ!

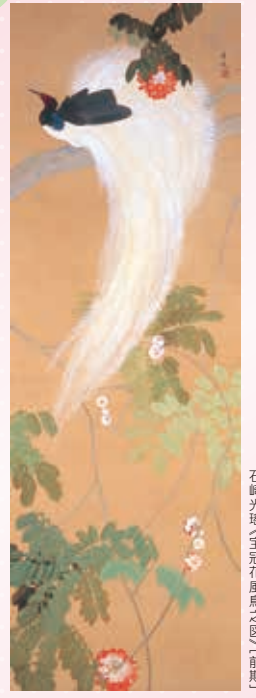
私たちにとって身近な存在であり、美術においても重要なモチーフである動物たち。自然の中で遊ぶリスやシカ、美しい羽を持つトリ、水辺に棲むサカナやカメ、草花に集うムシたち、神聖な霊獣であるシヤリュウまで、実にたくさんの動物たちが美術の世界に生きています。

本展はそんな絵画・工芸作品にあらわされた動物たちが主役の展覧会です。前期・後期で各50点以上を展示し、さまざまな造形、表情を見せる個性豊かな動物表現の魅力をご紹介します。また今年は干支の始まり「子年」にちなみ、平福百穂《十二支》を全幅(各期6幅)ご覧いただくなど、注目の動物や作家作品を集めた小特集は鑑賞入門にもピッタリです。

収蔵コレクションの中から動物たちが大集合する今だけの「どろぶつランド」を動物たちと一緒に楽しみてください。



幸野樸嶺《鯉魚図》(部分)《京都大家寄合画巻》下巻より[前期]



石崎光瑤《宝冠花風鳥之図》[前期]



塚原哲夫《新雪》[通期]



板谷波山《青磁鳳耳花瓶》[通期]



岡田華郷《獅子》当館寄託[後期]



広瀬義之《軸彩「舞う」扁壺》当館寄託[後期]

平福百穂《十二支》

全幅公開

子～巳[前期]
「子」(部分)

午～亥[後期]
「戌」(部分)

※所蔵表記のないものはすべて当館蔵

主な展示予定作品

塚原哲夫《初雪》[通期]、西沢笛吹《七面鳥》[前期]、中村岳陵《水牛》[後期]、藤井隆之《吹染孔雀図大壺》当館寄託[前期]、田村耕一《魚文組皿》[後期]

当館初公開

藤井隆之《吹染金魚図大壺》[前期]、葛飾北斎画「頼業阿闍梨性鼠伝」[前期]、小堀鞆音《白馬銀鞍図》[後期]、橘守国画「唐土訓蒙図彙」[後期](すべて当館寄託)ほか

ごいっしょに ～佐野の文化散歩～

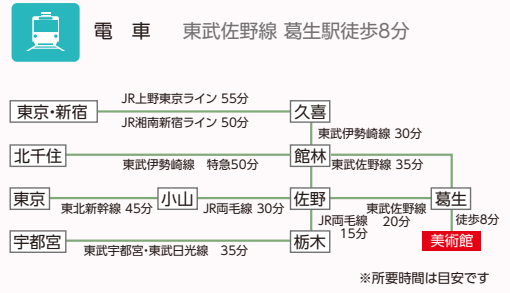
※休館日などについては、各館にお問い合わせください。

- 佐野市葛生伝承館**
0283-84-3311 (入館無料)
- 佐野市葛生化石館**
0283-86-3332 (入館無料)
- 佐野市郷土博物館**
0283-22-5111 (入館無料)
- 佐野市人間国宝田村耕一陶芸館**
0283-22-0311 (入館無料)



美術館への
アクセス

車 北関東自動車道佐野田沼ICから15分
→国道293号線を利用
→葛生行政センター北側
※宇都宮中心部から60分



※オムツ交換台を備えた化粧室がございます
※ベビーカーでもご入場できます

新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、臨時休館する場合がございます。最新情報は、当館ホームページまたはお電話にてご確認ください。